

長期計画の策定にあたって

～基礎調査・市民参画の実施概要～



令和7年2月10日（月）

令和6年度第2回習志野市長期計画審議会

<目次>

1. 基礎調査等の実施状況について
2. 市民参画等の実施状況について
3. 今後のスケジュールについて



1. 基礎調査の実施状況について

次期基本構想等の策定にあたり必要となる、過去及び現在の状況分析のために実施する調査であり、本調査の実施により、本市の将来に向けての課題や解決方法等の方向性が現れるものである。

現在は、以下の基礎調査を実施している。

(1) 市民意識調査

「令和6年度 習志野市市民意識調査報告書」令和6年10月

(2) 大学生意識調査

「令和6年度 大学生意識調査報告書」令和6年11月

(3) 人口推計

「令和6年度 習志野市人口推計結果報告書」令和6年11月

※人口推計については見直しの予定あり

各報告書は1月28日付けで送付しました。
「長期計画の策定にあたって」においては、概要のみ掲載

2

1-（1）市民意識調査

実施内容

- ◆ 習志野市民の意向を集約・分析するものであり、過去に実施した市民意識調査における結果との経年変化を把握するとともに、今日において地方自治体が直面する諸課題及び市固有の課題に対する市民意向を把握する。

調査方法

- ◆ 対象者：住民基本台帳記載の満15歳以上の個人のうち、無作為に抽出した5,000人
- ◆ 調査期間：令和6年7月25日までの14日間
- ◆ 調査票設問数：48問
- ◆ 調査票を対象者に郵送し、調査票を市に返送もしくはインターネットにより回答。
- ◆ 回答データの集計は、単純集計の他、性別、年代別、地域別等、必要なクロス集計、年代構成に係るウェイトバック集計を行う。
- ◆ 市が過去に実施した市民意識調査の結果、基本構想、基本計画等の行政計画の他、社会情勢を十分に考慮した上で回答データの分析を行う。

3

1-(1) 市民意識調査

回答状況

実施年度	調査票 送付数	回収数		
			紙回答	WEB回答
令和6年度	5,000	1,840	1,200	640
		回収率 36.8%	24.0%	12.8%
令和3年度	5,000	2,151	1,607	544
		回収率 43.0%	32.1%	10.9%

◆ 回収率は前回実施時より低下がみられるものの、統計学上の有効回答数を上回っている。

基本属性

年代	習志野市の 15歳以上人口年代構成		本調査回答者の 年代構成	
	人口	構成比	回答者数(注)	構成比
15～19歳	8,346	5.4%	49	2.7%
20～24歳	10,399	6.8%	51	2.8%
25～29歳	10,309	6.7%	83	4.6%
30～39歳	20,571	13.4%	178	9.8%
40～49歳	25,610	16.7%	317	17.5%
50～59歳	27,488	17.9%	349	19.2%
60～64歳	9,568	6.2%	149	8.2%
65～69歳	8,144	5.3%	143	7.9%
70～74歳	9,196	6.0%	146	8.0%
75～79歳	9,103	5.9%	177	9.8%
80歳以上	15,063	9.8%	173	9.5%
総数	153,797	100.0%	1,815	100.0%

資料：習志野市住民基本台帳人口（令和6年3月末）
(注)年代無回答者25名は除いた

- ◆ 本調査の回答者の年代構成は、本市の実態（統計上の年代構成）と比べると、10～30歳代層がやや薄く、40歳代以上層がやや厚くなっている。
- ◆ 男女比率については、本市の実態と比べると、女性がやや多くなっている。

【統計上の性構成との比較】※住民基本台帳の数値は令和6年3月末時点

	上段:回答者数 下段:15歳以上人口	1	2	3	無回答
		男性	女性	左記以外	
令和6年度調査	1840	44.2	54.2	0.1	1.5
住民基本台帳	153797	49.5	50.5		

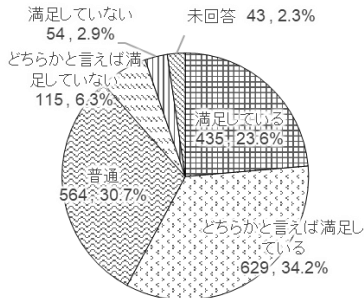
4

1-(1) 市民意識調査

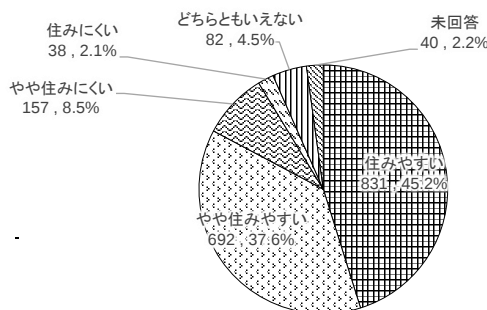
結果概要

- ◆ 現在の暮らし向き等に関する回答内容は以下のとおり。

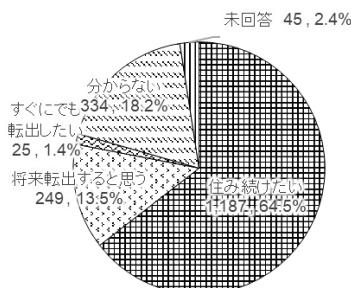
あなたは現在の暮らしにどの程度満足していますか。



あなたが現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか。



あなたは、今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。



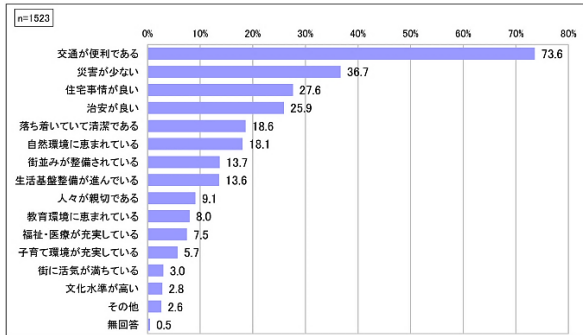
- 現在の暮らしの満足度としては、『満足している 57.8%』（「満足 23.6%」「どちらかと言えば満足 34.2%」の合計。以下、同じ）が 6 割近くを占め、最も多く、次いで「普通 30.7%」がほぼ 3 割、『満足していない 9.2%』が 1 割弱であった。
- 現在住んでいる場所については『住みやすい』が 82.8% を占めた。
- 現在の場所での居住の継続意向については「住み続けたい 64.5%」が最も多く、以下、「わからない 18.2%」「転出したい 14.9%」であった。

5

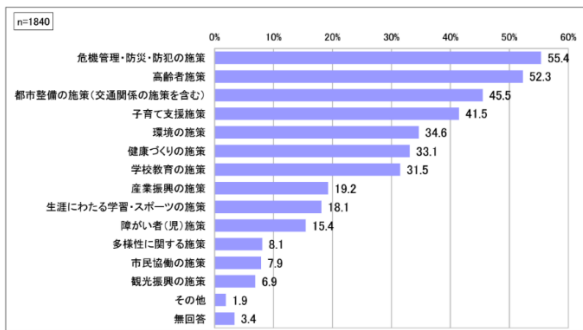
1-(1) 市民意識調査

結果概要

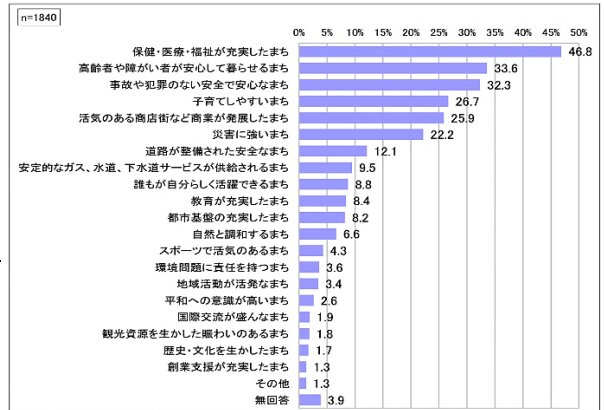
◆ 習志野市が住みやすいと感じる理由



◆ 特に重要だと思う施策



◆ 10年後に期待する習志野市（まち）の姿



◆現在住んでいる場所について「住みやすい」「やや住みやすい」とした回答者（全回答者の82.8%）に住みやすいと感じる理由を聞いたところ、「1位 交通が便利 73.6%」が突出して多い。

◆特に重要だと思う施策について、提示した施策13項目のうち、重要と思うものとしては、「1位 危機管理・防災・防犯 55.4%」「2位 高齢者施策 52.3%」がいずれも半数を超えた。

◆10年後に期待する習志野市像としては、「1位 保健・医療・福祉が充実したまち 46.8%」を回答者の半数近くが選択して最も多い。

6

1-(2) 大学生意識調査

实施内容

◆ 若者が置かれている状況や市に対し何を望んでいるのかを把握するため、アンケート調査を実施するもの。

調査方法

- ◆ 調査票配布による調査（WEB回答を併用）
- ◆ 対象者：市内3大学 各500名 ※合計：1,500名
- ◆ 調査票設問数：20問
- ◆ 各大学による直接配布とし、各大学による回収とする

調査期間

令和6年9月17日頃から10月15日まで

[illegible]

1-(2) 大学生意識調査

回答状況

調査票配布数	回収数	回収率
1,500 (各大学500)	1,441	96.10%

基本属性

設問項目	回答数	構成比
1. 男性	999	69.30%
2. 女性	430	29.80%
3. 上記以外	7	0.50%
未回答	5	0.30%
計	1,441	100.00%

- ◆ 回答者の性別は、「男性」が69.3%、「女性」が29.8%となっている。
- ◆ 回答者の学年は、「2年生」が34.8%と最も多く、次いで「4年生」が25.5%となっている。
- ◆ 回答者の居住地域は、「習志野市外の千葉県内」が40.1%と最も多く、次いで「習志野市内」が27.3%となっている。

設問項目	回答数	構成比
1. 1年生	250	17.30%
2. 2年生	501	34.80%
3. 3年生	254	17.60%
4. 4年生	367	25.50%
5. 大学院生	65	4.50%
6. その他	0	0.00%
未回答	4	0.30%
計	1,441	100.00%

設問項目	回答数	構成比
1. 習志野市内	394	27.30%
2. 習志野市外の千葉県内	578	40.10%
3. 東京都	212	14.70%
4. 千葉県・東京都以外	247	17.10%
未回答	10	0.70%
計	1,441	100.00%

8

1-(2) 大学生意識調査

結果概要

◆ 習志野市に対するイメージ

	そう思う	どちらかという うと思う	どちらでもない	どちらかという うと思わない	そう思わない	未回答
自然が豊か	193	513	458	209	64	4
交通の便がよい	291	496	318	239	89	8
居住環境がよい	188	588	491	126	38	10
大型商業施設が充実している	186	415	430	308	96	6
商店街が活気に満ちている	156	445	481	273	82	4
娯楽・レジャーが充実している	95	320	524	374	120	8
子育て環境が充実している	112	362	784	122	48	13
教育環境が充実している	183	556	570	91	34	7
防災・防犯対策が充実している	119	444	714	113	43	8
福祉・医療サービスが充実している	141	480	687	94	31	8
公共施設が充実している	153	491	636	116	37	8
スポーツが盛んである	141	341	680	187	81	11
文化・芸術活動が盛んである	102	311	725	209	83	11

- ◆ 習志野市のイメージについて、「そう思う」「どちらかというと思う」を最も選択されたのは「交通の便がよい」で54.6%、次いで「居住環境がよい」で53.9%であった。

【その他の記述内容】

- ・習志野市のことをよく知らない。
- ・特徴があまりない。
- ・近年津田沼周辺では再開発が進み、街並みが大きく変わってきている印象がある。

◆ 住みたいと思う理想的な街（地域）のイメージ

	とても重視する	やや重視する	どちらでもない	あまり重視しない	全く重視しない	未回答
自然が豊か	268	667	310	143	36	17
交通の便がよい	1038	333	52	8	5	5
居住環境がよい	1035	355	37	6	2	6
大型商業施設が充実している	538	583	206	94	12	8
商店街が活気に満ちている	303	444	420	197	71	6
娯楽・レジャーが充実している	447	501	295	157	32	9
子育て環境が充実している	491	506	272	106	59	7
教育環境が充実している	498	545	266	79	44	9
防災・防犯対策が充実している	732	498	153	36	10	12
福祉・医療サービスが充実している	681	541	159	40	12	8
公共施設が充実している	564	552	242	56	18	9
スポーツが盛んである	266	316	418	257	176	8
文化・芸術活動が盛んである	240	367	446	247	137	4

- ◆ 住みたいと思う理想的な街のイメージについて、「とても重視する」「やや重視する」を最も選択されたのは「居住環境がよい」で96.5%、次いで「交通の便がよい」で95.1%であった。

【その他の記述内容】

- ・頼れる人が近くにいる。
- ・発展・再開発が進んでいる場所の方がよい。
- ・教育分野の交流事業に力を入れている。

9

1-(2) 大学生意識調査

結果概要

◆ 習志野市に活気を生み出し、若い世代の移住・定住を促進する取り組み

回答	回答数	回答	回答数
1. 地元大学等の活性化と協働によるまちづくり(地域とのふれあい)の推進	334	11. 創業(起業)支援の強化と新たな産業の創出	95
2. 多世代が交流できる拠点づくり・活性化と既存公共施設の再生	217	12. 企業活動・地域産業の活性化	185
3. 駅周辺地域の活性化(ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど)	850	13. 企業の誘致	186
4. 徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上(コンビニ・スーパー・ドラッグストア等)	447	14. 超高齢社会への対応	144
5. 魅力ある公園・緑地づくり	319	15. 行政サービスの利便性向上(ICT対応等)	142
6. 道路等交通インフラの整備・改善	525	16. 交流人口の増加の推進	126
7. 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	324	17. 周辺及び広域における他自治体との連携の形成	83
8. 教育環境の再整備の推進及び質の高い公教育の充実	188	18. 観光スポットの整備	342
9. ワーク・ライフ・バランスの推進	278	19. その他	24
10. 就業の促進、人材育成、雇用対策	216	未回答	13

◆ 活気を生み出し、若い世代の移住・定住を促進する取り組みについて、「駅周辺地域の活性化(ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど)」が59.0%と最も多く、次いで「道路等交通インフラの整備・改善」が36.4%であった。

【その他の記述内容】

- ・学生・新卒者への経済的支援。
- ・土地の有効活用。
- ・近隣観光スポットとの連携。

1-(3)人口推計

実施概要

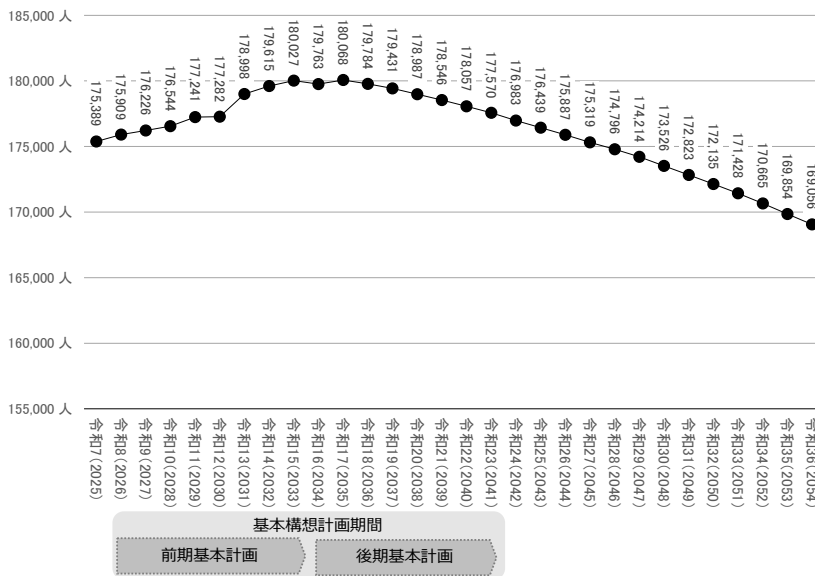
- ◆ 本市の過去からの人口動向の分析を行い、令和7(2025)年度から令和36(2054)年度の30年間の人口推計を行う。(基準日は各年度の3月末日)
- ◆ 住民基本台帳人口をベースとし、日本人・外国人別、男女別、年齢別、コミュニティ別に行う。
- ◆ 本推計では、推計単位規模が小さい点、習志野市では社会移動が一定規模でみられる点などを踏まえ、日本人については「コーホート要因法」を用い、生存率表が存在しない外国人については「コーホート変化率法」を用いて推計を行った。
- ◆ 本推計では今後見込まれる開発人口を考慮することとした。

1-(3)人口推計

結果概要

(1) 推計結果-総人口（中位推計）

総人口の推移をみると、令和15（2033）年まで人口が増加し、令和16（2034）年に一旦微減するが、翌年の令和17（2035）年には増加に転じピークを迎えるものの、その後は緩やかに人口が減少することが見込まれる。



※長期計画では、計画期間（R8～R23）の推計の抜粋を掲載

12

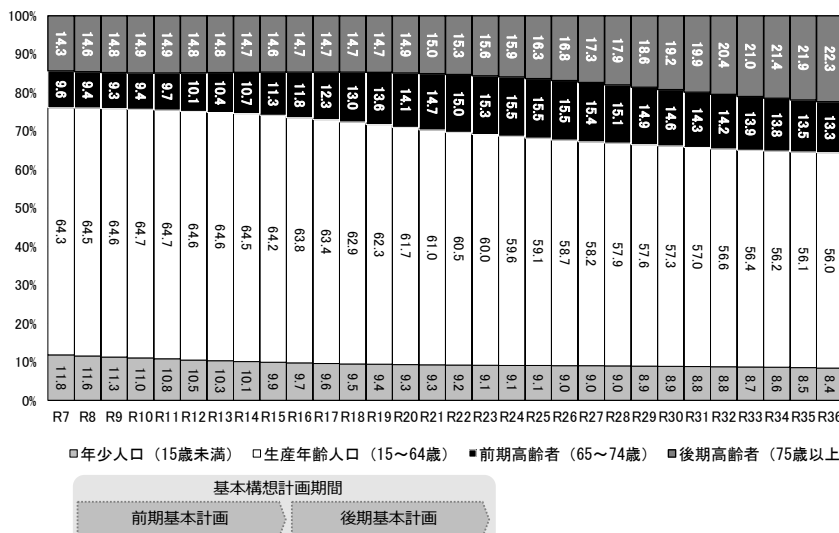
1-(3)人口推計

結果概要

(2) 年齢別推計（開発含む・中位推計）

年齢4区分別の推移をみると、令和36年には、65歳以上人口は緩やかに増加し35.6%（前期高齢者13.3%・後期高齢者22.3%）となる一方、15～64歳は令和11年をピークに減少に転じ56.0%、15歳未満は漸減し8.4%と、今後も少子高齢化が一層進展することが見込まれる。

年齢4区分別人口の状況(割合)



※長期計画では、計画期間（R8～R23）の推計の抜粋を掲載

13

2. 市民参画等の実施状況について

基本構想等の策定に向けては、機会を捉えて幅広く市民参画による意見聴取を行うこととしており、以下の市民参画事業等を実施している。

- (1) 市政懇談会
- (2) 市民意見交換会
- (3) キラット・ジュニア防犯隊からの意見聴取
- (4) 中学生からの意見聴取（子ども議会）
- (5) 3大学学生ワークショップ
- (6) 事業者インタビュー
- (7) 小学生からの意見聴取（社会科の授業）
- (8) 高校生からの意見聴取（アンケート調査）

「習志野市基本構想・基本計画策定に向けた
市民参画に関する報告書」 令和6年11月

報告書は1月28日付けで送付
しました。
「長期計画の策定にあたって」に
おいては、概要のみ掲載

14

2-（1）市政懇談会

実施内容

- ◆ 協働型まちづくりの実現を目的に、市政について町会・自治会関係者と市長が懇談する市政懇談会において、現行基本構想等の概要及び進捗状況等を説明し、市長と町会・自治会関係者との直接の懇談により、広く地域の意見を聴取するもの。
- ◆ 事前に意見書を出席者に郵送し、本用紙を記入の上、市政懇談会当日に持参していただき会場で回収した。また、本用紙は当日会場でも配布し、会場にて記入し提出することも可とした。

対象者

自治会活動関係者（各連合町会長、単位町会・自治会長、まちづくり会議議長他）

実施日

令和6年6月1日（土） 15:00～15:50

結果概要

- ◆ 意見書提出数：12名（当日の挙手による質問者を含む）
- ◆ 魅力あるくらしづくり、ICT地域連携、ごみ集積所改善、自転車通行対策、公共施設再生、財政健全化、外国人施策などに対する意見があった。

15

2-(2) 市民意見交換会

実施内容

- ◆ 「習志野市の将来を“市長”と共に語り合しましょう！」と題し、市長と直接市民が語り合い、市の将来像を共に描く機会とするもの。
- ◆ 10年後、20年後に習志野市をどのような「まち」にしたいか、さらに、その「まち」を実現するための具体的な取り組みのアイデア等を自由に出していただき、「今後のまちづくりに向けた市への提案」として次期基本構想・基本計画や個別計画を策定するために活用する。
- ◆ 各会場1回、合計3回開催、定員は各回40名（先着順）、事前申し込み不要。
- ◆ 広報習志野（9月15日号）、ホームページ、習志野市公式LINE、YouTube内市長ニュースでのお知らせ、まちづくり会議での案内により周知する。

対象者

全市民

実施期間

- 第1回：9月28日（土）10:00～11:30 谷津コミュニティセンター
第2回：10月6日（日）13:00～14:30 市庁舎
第3回：10月12日（土）15:30～17:00 東習志野コミュニティセンター

16

2-(3) キラット・ジュニア防犯隊からの意見聴取

実施内容

- ◆ キラット・ジュニア防犯隊の活動に参加する小学生・中学生に対し、意見聴取するもの。「こんなまちにしたい！習志野市」をテーマに、アンケートを事前提出いただき、そのアンケートをもとに意見交換（30分程度）を実施した。

対象者

キラット・ジュニア防犯隊の活動に参加する小学生・中学生
（小学5年生から中学2年生で構成）

実施日

令和6年7月21日（日）11:40～12:10

結果概要

- ◆ アンケートの内容は、「もし自分が市長になったらこんな習志野市にしたい！」等
- ◆ 83名の隊員から事前アンケートの提出があり、開催当日の意見交換には、計61名の隊員が参加。当日は、事前提出のアンケートをもとに7グループで話し合いを行い、リーダーがグループ意見を発表した。
- ◆ 「みんなにやさしいまち、特にお母さんと子どもにやさしいまちにしたい。」「災害が起こった時にしっかり対応できるようにする。」「差別のないみんなが平等なまち。」などの意見があった。

17

2-(4) 中学生からの意見聴取(子ども議会)

実施内容

- ◆ 市制施行70周年を記念し、次代を担う子ども達が未来に向かって習志野市の教育・文化・まちづくりについて考え、学ぶ機会として行われる「習志野市子ども議会」における一般質問、要望を意見聴取とするもの。

対象者

各市立中学校から2名、合計14名

実施日

令和6年7月23日(火) 12:50~16:40

結果概要

- ◆ 市政への意見として、①「15、16年後(自身が30歳頃)にどんな習志野市であってほしいか」、②「習志野市が子どもに向けて取り組んでほしいこと」について発言いただいた。
- ◆ ①に関する主な意見
 - ・『子供からお年寄りまで、いろいろな世代の人の大切な居場所になるような市』
 - ・『大人も子供も安心、安全に生活できる市』
 - ・『スポーツが活発な地域』
 - ・『商業が発展して、大勢の人が集まる場所』
 - ・『安心して、親が子供を育てられる市』
 - ・『交通整備が整っており、誰もが安心して暮らせる市』
 - ・『親の介護がしやすいまち』

18

2-(5) 3大学学生ワークショップ

実施内容

- ◆ 市内立地、隣接の3大学の大学生を対象に市政に係る意見交換を実施し、若年層の市政に対する意見や要望を聴取する。「若者が住みたい・住み続けたいまちのイメージ・要素」及び「これを実現するために行政が推進すべき具体的な取組」をテーマとし、ワークショップ形式で開催するもの。

対象者

参加大学：千葉工業大学、東邦大学、
日本大学生産工学部
参加人数：計17名

実施日

令和6年9月28日(土) 14:00~16:00

実施結果の一例 ➡

【1班】 習志野市の強み・弱み	
○強み (良いところ、伸ばしたいところ、好きなどころ)	△弱み (悪いところ、改善したいところ、気になるところ)
・東京に出やすい、始発で座れる、都心へのアクセスがいい、千葉市や船橋市へのアクセスがいい、電車やバスが多い、市内の移動がしやすい ・歩行者にやさしい、治安が良い、自衛隊がある(安心) ・音楽やスポーツが盛ん、高校や大学が有名、美爆音 ・京葉線沿いの大型施設が活気づいている、谷津バラ園などの観光スポット、ラーメン屋が多い、ラウンドワンがある、のどかな市街地	・「住みやすい」=「住みたい」ではないので住み続けさせる魅力がたりない、面白みが足りない、シャッター街になりがち、遊ぶ場所が少ない ・大雑把な印象がつかみやすく好奇心がわかない、市を強調したものが少ない、市をあげた大規模イベントが少ない、著名人を誘致するイベントを見かけない、観光面で知名度が低い、全国的に知られていない名所がない ・新習志野駅のアクセスが悪い、東習志野へ行く機会がない、道が狭い、車交通に不便そうと感じる ・企業が少なく、大学間の交流機会が少ない

選ばれるまちとなるための理想的なまちの状態	
・ベッドタウンを極めたまち ・学生のまち ・市内で完結！子どもが育つまち ・子ども、家族にサポートが多いまち ・エモい商店街のまち ・学校で音楽、スポーツに触れられるまち ・暮らしてみると、案外よいまち	・学生のWS ・おでかけに困らないまち ・平穩という言葉が似合うまち ・のどかなまち ・知ってみると便利なまち ・高齢者、障がい者に優しいまち ・ギャンブル性のある、好奇心がくすぐられるまち

19

2-(6) 事業者インタビュー

実施内容

- ◆ 習志野市がどのようなまちを目指すべきか、またその実現のために、市と共同して事業者としてできること等をテーマとして、市内事業者と意見交換を行う。

【インタビュー内容】

- ・ テーマ1：市外からより多く人や消費を市内へと引き込み、足腰の強い地域経済を構築するために、市全体で目指すべき将来都市像（理想的なまちの姿）【25～30分】
- ・ テーマ2：将来都市像の実現に向けて、今後約10年間の中で重点的に推進すべき取組【25～30分】

対象者

市内事業者
（習志野商工会議所 所属部会員等）

実施日

令和6年9月24日（水）12:20～13:30 ◆

結果概要（抜粋）

- ◆ 昼間は都内に出ている人が多く、昼間は商店は厳しい状況にある。市内に住む人が増えること、市内で消費が循環することが重要。市内に事業者を増やし、昼間の労働人口を増やすことで市内消費が増え、経済が回っていくのではないかと。
- ◆ 魅力的なまちにするためには、商店の充実、イベント・レクリエーションの充実が必要。住環境を保護することとの整合性を図ることも必要。

20

2-(7) 小学生からの意見聴取(社会科の授業)

実施内容

- ◆ 小学校の社会科の授業では「地方自治について」学んでいる。その授業において、題材「こんなまちにしたい！習志野市」について考え、意見をまとめてもらうもの。

対象者

市立小学校16校の6年生全クラス

実施期間

令和6年9月～10月

結果概要（抜粋）

【習志野市の良いところ・好きなところ】

- ・ 交通が便利なところ
- ・ イベントがたくさんあるところ
- ・ 音楽が盛んなところ
- ・ スポーツが強いところ
- ・ 特産物がたくさんあるところ（ソーセージ、にんじん）
- ・ 魅力的な商業施設があるところ
- ・ 治安がよく、住んでいる人も優しいところ
- ・ 公共施設やインフラ整備が充実しているところ
- ・ 街がきれいなところ（ポイ捨てする人が少ない、）
- ・ 自然が多いところ（谷津干潟、バラ園、公園、海）
- ・ 伝統があるところ（小学校、祭り、古墳）
- ・ 田舎でも都会でもないところ
- ・ 外国との交流があるところ
- ・ 巨人発祥の地・ナラシド♪・隕石

【もし自分が市長になったらどんな習志野市にしたいか】

- ・ 大人も子供も元気な市にしたい
- ・ 事故がなく安全な市にしたい・治安の良い市にしたい
- ・ 高齢者や障害のある人が安心して暮らせる市にしたい
- ・ 歴史と自然が豊かな市にしたい
- ・ 公園を増やす・綺麗な市にしたい
- ・ スポーツをさらに有名にしたい
- ・ 音楽のまちの推進・新しいイベントを開催したい
- ・ ふるさと納税の返礼品を考えたい
- ・ お店を増やしたい
- ・ グルメスタンプラリーを作りたい
- ・ 親子で住みやすい、子どもを育てやすい環境づくり
- ・ 周りの都市と関係のよい市にしたい
- ・ 観光地を増やしたい
- ・ 地震や津波などの災害に強い市にしたい

21

2-(8) 高校生からの意見聴取(アンケート調査)

実施内容

◆ 市内立地高校の生徒を対象に、アンケート形式による意見聴取を行うもの。

対象者

◆ 各校5名の計20名程度。

実施期間

令和6年10月16日（水）～31日（木）

結果概要（抜粋）

【習志野市にどんな印象をもっているか】

- ・活気がある（活動に一生懸命、地域の方々の活動、地元愛が強い、ボランティア活動、若い世代が多い）
- ・住みやすい（静か、交通が便利、落ち着いている、きれい）
- ・治安が悪い
- ・治安が良い
- ・お祭りが多くて楽しい（きらっと祭り、子どものための行事が多い）
- ・自然豊か（谷津干潟のような多種多様な生物、公園が多い、海）
- ・道が狭い（歩道、大久保十字路）
- ・船橋から千葉市への通り道（アクセスが良い）
- ・津田沼駅（一番発展してる、活気がない）
- ・音楽のまち
- ・建物が多く、街並みがキレイ（市役所の形がすごい）
- ・魅力的な施設がたくさん（商業施設、ラーメン店）
- ・スポーツが盛ん。（オービックシーガルズの活躍、野球）
- ・バスが遅い、少ない

【10年後、20年後、どのような“まち”に「住みたい」「住み続けたい」と思うか】

- ・活気のあるまち（若い人が住む、明るい、賑やか、何度も訪れたい良いところ、地域のひとのコミュニティが活発）
- ・鉄道などの公共交通機関が発達している
- ・治安が良いところ（事件事故のない）
- ・きれいなところ（緑豊か）
- ・生活に必要なインフラや公共施設が充実しているところ
- ・道路が整備されている
- ・イベントがある（住民同士が支えあい開催する）
- ・子育て支援が十分なまち
- ・自然と共生できる（心に癒しを与えてくれる）
- ・住民税が安い、又は税金がしっかり活用されている
- ・便利で生活しやすい（若い世代も高齢者も）
- ・商業施設が多い（飲食店、娯楽施設、ショッピングモール）
- ・自然災害に強く、安心して暮らせるまち
- ・今までと変わらない習志野市に住み続けたい

22

3. 今後のスケジュールについて

年度	R5	R6	R7	R8～
基本構想	●策定方針	基本構想策定作業		基本構想 R8.4～16年間
基本計画 実施計画		基本計画・実施計画策定作業		基本計画 R8.4～8年間 実施計画 R8.4～4年間

●決定

新たな計画期間の開始

基本構想

- R06年12月 第3回策定本部会議
R07年1月 第4回策定本部会議 ▶基本構想素案の作成
R07年1月 庁議 ▶基本構想素案の審議
R07年1月 市議会意見交換会
R07年2月 **R6年度第2回長期計画審議会<本日>** ▶諮問
R6年度第3回長期計画審議会（書面） ▶意見照会
R6年度第4回長期計画審議会 ▶審議 ▶3月末答申
R07年3月 庁議 ▶基本構想策定案の審議とパブリックコメントの実施
R07年4月 第5回策定本部会議 ▶パブリックコメントの結果と基本構想策定案の修正
R07年6月 庁議 ▶基本構想最終案の審議と議会への上程
R07年7月 **令和7年9月議会 ▶基本構想の議決**

基本計画

- R07年8月 第6回策定本部会議 ▶基本計画素案の作成
庁議 ▶基本計画素案の審議
R07年9月 **R7年度第1回長期計画審議会** ▶諮問
R7年度第2回長期計画審議会（書面） ▶意見照会
R7年度第3回長期計画審議会 ▶審議 ▶10月末答申
R07年10月 庁議 ▶基本計画策定案の審議とパブリックコメントの実施
R07年11月 第7回策定本部会議 ▶パブリックコメントの結果と基本計画策定案の修正
R08年1月 **庁議 ▶基本計画最終案の審議**
令和8年3月議会（重要事項）▶基本計画策定の報告

23